講義名	オ)研究演習Ⅱ		
講義コード	45401	授業形態	演習
担当教員	辻　美代		
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 ５時限		
備考			

ゼミ

研究演習Ⅱ

学部

経済学部・商学部

学科

演習名

辻美代ゼミナール(アジア論)

概要説明

　中国は高度経済成長期を終え、「新常態」つまり安定成長段階に入った。中国は2010年には日本を抜いて世界第二位の経済大国に成長し、現在、米国との厳しい貿易摩擦を抱えている。米国との摩擦は、貿易に限定されるものではなく、経済覇権を争うものとなり、大国間の争いは、世界経済に大きな影響を与えるものであり、米中関係の改善が望まれる。
　他方、中国国内に目を向けると、急速な経済成長は、電力・水不足、深刻な公害（環境問題）、経済格差など多くの問題を生んだ。なかでも、環境問題は地球規模で解決が急がれている。その解決には新しい技術の開発や、日本のこれまでの経験や大いに参考となり、日本の協力がこれまで以上に求められている。また、日本にとっても、中国の活力を取り込むことが必要であり、中国は必要不可欠なパートナーである。
　現在、中国の日本旅行ブームが続いているとはいえ、日中双方でお互いを正しく理解する機運に欠けている。そのため、ゼミでは様々な情報を収集し、自分の考えで分析できるようにしていきたい。そのため、ゼミでは、企業見学やヒアリング、海外（中国・韓国）研修を積極的に企画し、学生の見聞が広がるようにしていきたい。

学位

経済学修士

教員よりの要望

日本人学生も留学生も、日本、アジアに興味を持ってください。

百聞は一見に如かず。百読も一見に如かず？　中国およびアジアに行って自分の目で見て、感じて、考えましょう。五感（目・耳・鼻・舌・皮膚）を全開させて、中国を体感しながら「知識の芋掘り」をしましょう。芋を探し当てるのはちょっと大変ですが、一旦探し当てると、そこから次から次へと芋が出てきますよ。「知識の芋ほり」を楽しめる、好奇心と忍耐力・体力を持って下さい。そして最後、芋掘りの成果を卒業論文にまとめて下さい。

教員英字氏名

Tsuji Miyo

研究室

研究棟Ⅰ 114研究室

最終学歴

大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得退学

主な研究活動・社会活動・研究業績

・年に数回、中国およびアジア地域に現地調査に行きます。

・「21世紀型アパレル企業の取り組み－日中アパレル企業を例に－」『関西大学　経済論集』第68巻第4号（2019年3月）
・「20世紀世界繊維事情―モードの「ユニフォーム化」と中国の台頭―」『流通科学大学論集－経済・情報・政策編』第23巻第2号（2015年1月）
・「中露林産業の共生・共栄―国境林産物貿易の推移から―」『流通科学大学論集－経済・情報・政策編』第22巻第2号（2014年1月）
・「黒竜江省における対ロシア経済交流の現状―木材貿易を中心に―」富山大学極東地域研究センター　平成22年度富山県受託調査研究報告書『富山と対岸諸国との物流』、2011年3月

主な卒業論文のタイトル

・「中国の国有企業改革」
・「中国のペット産業」
・「野菜の種子について―日本と中国との関係を中心に―」
・「WTO加盟後の中国経済」
・「中国の水環境問題」
・「日中友好関係を実現するために」
・「霧にかすむ大陸―中国の大気汚染」
・「日本と中国の流通事情について」
・「中国の物流」
・「トヨタ自動車の中国戦略」
・「日中アパレル産業について」
・「中国コンピューターゲーム産業の展望」

趣味・特技

大阪の田舎で生まれ、育ちました。長期大阪（日本）を離れたのは、中国（北京）留学の一年間とイギリス（ケンブリッジ）在外研究の一年間。北京（1980年代末）もケンブリッジ（2004年）も「自然」豊かな都市で、サイクリングやハイキングを十二分に楽しみました。
方向音痴ですが、地図とカメラを持っをぶらぶらゆっくり歩くのが好きです。

所属

経済学部

所属学会

日本現代中国学会、中国経済経営管理学会、アジア政経学会

専門分野

中国経済論、アジア繊維産業論

選考方法

直接会って、話をして決めたいと思います。

担当科目

アジア史、アジア経済論、経済学入門、教養基礎（歴史）、研究演習

備考

留学生の感想を一つ載せます。参考にして下さい。

評価方法

ゼミへの出席、そして発表・報告等を総合的に評価します。

実務経験の有無及び活用